

## 第4章 職業関係

### 1 職業に関する体験的活動

#### (1) キャリア教育の効果

Q40 実際に働く体験（インターンシップ）をしたり、起業（自分で事業を立ち上げること）の模擬体験をしたり、企業に勤める人から働くことについての講義を受けたりするなど、学校で行った職業に対する体験的活動は、現在の職業に就く際に役に立ちましたか。この中から1つだけ選んでください。（回答は1つ）

フルタイムで働いている人が対象

Q41 実際に働く体験（インターンシップ）をしたり、起業（自分で事業を立ち上げること）の模擬体験をしたり、企業に勤める人から働くことについての講義を受けたりするなど、学校で行った職業に関する体験的活動は、今後就きたいと考えている職業を選ぶ際に役に立っていますか。この中から1つだけ選んでください。（回答は1つ）

フルタイムでの就労意向がある人、または希望する職種が決まっている人が対象

キャリア教育の効果について日本の若者に聞いたところ、フルタイムで働く人では『役に立った』『役に立った』と「どちらかといえば役に立った」の合計）と答えた割合は32.6%、『役に立たなかった』（「どちらかといえば役に立たなかった」と「役に立たなかった」の合計）は28.0%、「職業に関する体験的活動は行ったことがない」は24.6%である。

日本について平成25年度調査と比較すると、『役に立った』と答えた割合は5.0ポイント高くなっている。

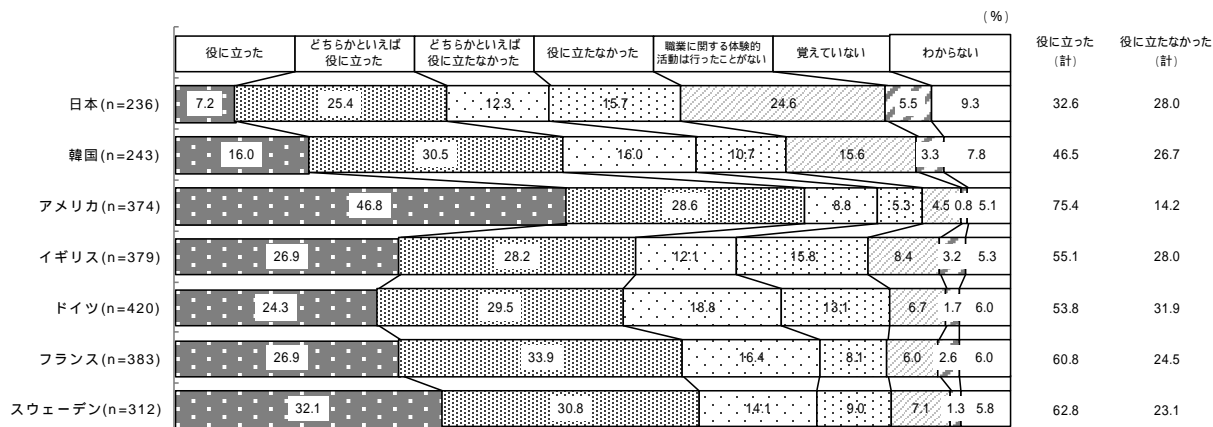
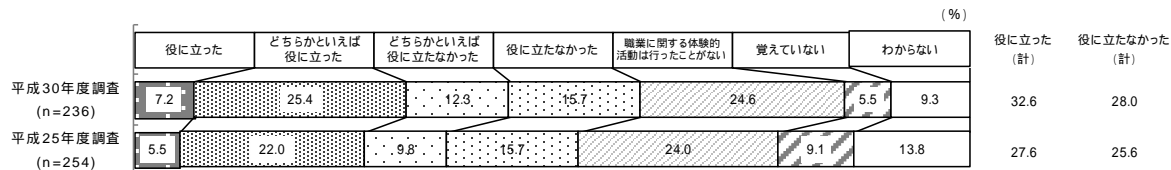
7か国比較でみると、『役に立った』と答えた割合はアメリカ（75.4%）で最も高い。次いで、スウェーデン（62.8%）、フランス（60.8%）、イギリス（55.1%）、ドイツ（53.8%）で5割以上である。また、韓国（46.5%）、日本（32.6%）となっている。

フルタイムでの就労意向がある人、または希望する職種が決まっている人では、『役に立っている』（「役に立っている」と「どちらかといえば役に立っている」の合計）と答えた割合は43.9%であり、フルタイムで働く人よりも11.3ポイント高い。

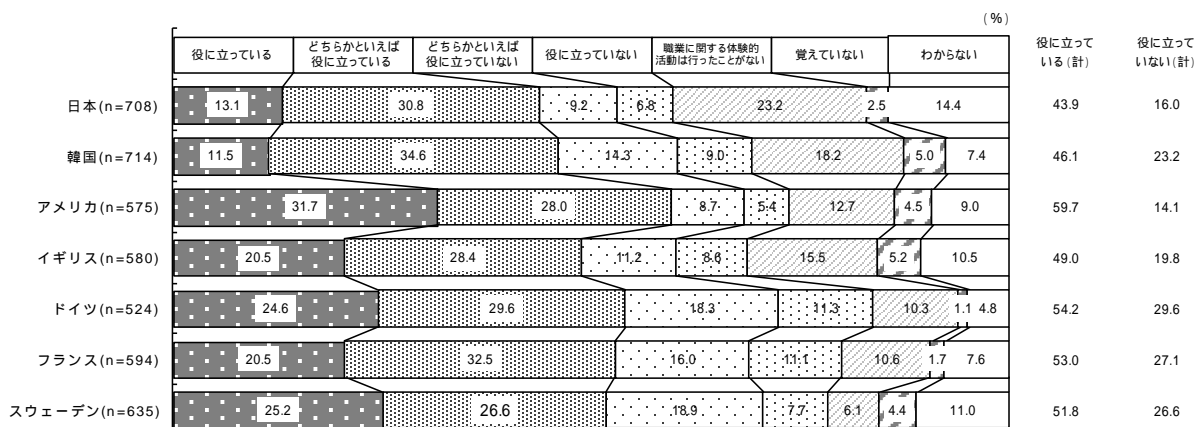
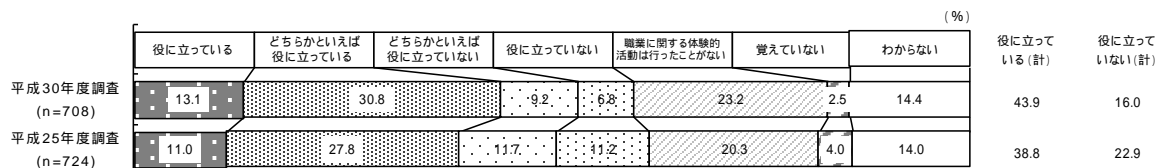
日本について平成25年度調査と比較すると、『役に立っている』と答えた割合は5.1ポイント高く、『役に立っていない』（「どちらかといえば役に立っていない」と「役に立っていない」の合計）は6.9ポイント低くなっている。

7か国比較でみると、『役に立っている』と答えた割合はアメリカ（59.7%）で最も高い。次いでドイツ（54.2%）、フランス（53.0%）、スウェーデン（51.8%）、イギリス（49.0%）、韓国（46.1%）、日本（43.9%）となっている。

### Q40 フルタイムで働く人



### Q41 フルタイムでの就労意向がある人、または希望する職種が決まっている人



(2) キャリア教育の受講意向

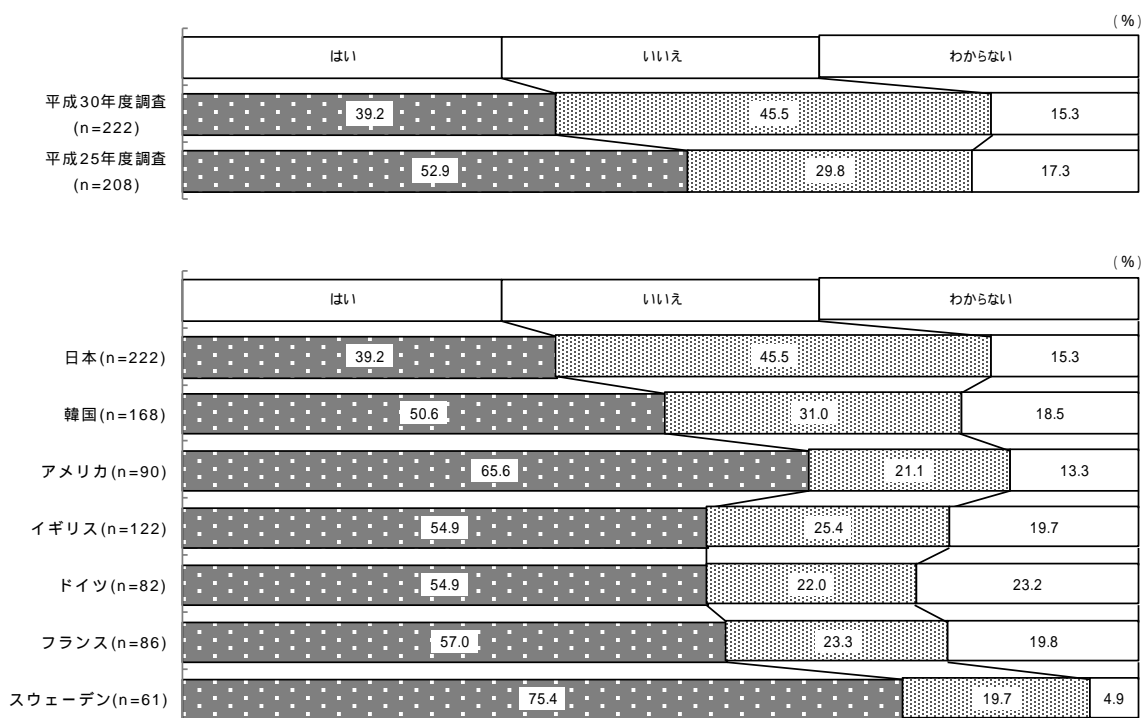
Q42 実際に働く体験（インターンシップ）をしたり、起業（自分で事業を立ち上げること）の模擬体験をしたり、企業に勤める人から働くことについての講義を受けたりするなどの職業に関する体験的活動を学校で行ってみたい（みたかった）ですか。（回答は1つ）

Q40、41で「職業に関する体験的活動は行ったことがない」と回答した人が対象

職業に関する体験的活動を行ってみたい（みたかった）か、今までキャリア教育を受けたことのない日本の若者に聞いたところ、「はい」と答えた割合は39.2%、「いいえ」と答えた割合は45.5%である。

日本について平成25年度調査と比較すると、「はい」と答えた割合は13.7ポイント低くなっている。

7か国比較でみると、「はい」と答えた割合は、スウェーデン（75.4%）が最も高く、次いでアメリカ（65.6%）、フランス（57.0%）、イギリス・ドイツ（それぞれ54.9%）、韓国（50.6%）、日本（39.2%）となっている。



## 2 職場生活の満足度

### (1) 職場生活の満足度

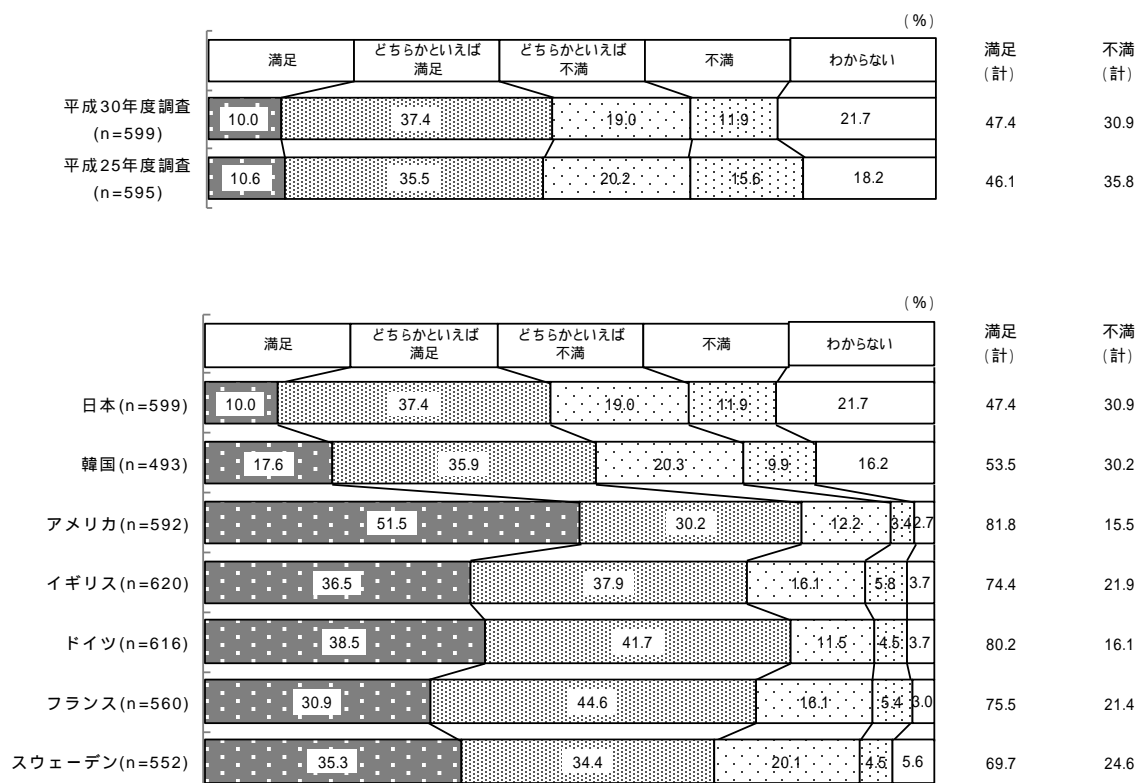
Q43 あなたは、今の職場に満足していますか。(回答は1つ)

就労者が対象

職場生活の満足度について日本の若者に聞いたところ、『満足』(「満足」と「どちらかといえば満足」の合計)と答えた割合は47.4%である。

日本について平成25年度調査と比較すると、大きな差はみられない。

7か国比較でみると、日本以外は『満足』と答えた割合が5割以上を占めており、アメリカ(81.8%)が最も高い。次いでドイツ(80.2%)、フランス(75.5%)、イギリス(74.4%)、スウェーデン(69.7%)、韓国(53.5%)、日本(47.4%)となっている。



### 3 仕事に対する考え方

#### (1) 職業選択の重視点

Q44 仕事を選ぶ際に、どのようなことを重視しますか。この中からいくつでも選んでください。  
(回答はいくつでも)

仕事を選ぶ際に重視することを日本の若者に聞いたところ、「収入」(70.7%)と答えた割合が最も高く、次いで「仕事内容」(63.1%)、「労働時間」(60.3%)、「職場の雰囲気」(51.1%)となっている。

7か国比較でみると、アメリカ、ドイツ、フランス、スウェーデン、韓国でも、日本と同様に「収入」(アメリカ70.0%、ドイツ68.5%、フランス63.2%、スウェーデン62.4%、韓国61.9%)と答えた割合が最も高くなっている。イギリスでは「労働時間」(64.2%)と答えた割合が最も高い。アメリカ、ドイツ、韓国では「労働時間」(アメリカ63.4%、ドイツ61.4%、韓国54.9%)、イギリスでは「収入」(62.7%)、日本とフランス、スウェーデンでは「仕事内容」(日本63.1%、フランス59.4%、スウェーデン58.9%)がそれぞれ高い割合となっている。

日本について平成25年度調査と比較すると、上位3項目は「収入」「仕事内容」「労働時間」で変わりはない。ただし「労働時間」が8.6ポイント高くなっている。その他に差が見られたのは、上位の項目ではないが「自分を生かすこと」(25.4%)で、前回35.3%から9.9ポイント低くなっている。

|                        | 日本<br>(n=1,134) | 韓国<br>(n=1,064) | アメリカ<br>(n=1,063) | イギリス<br>(n=1,051) | ドイツ<br>(n=1,049) | フランス<br>(n=1,060) | スウェーデン<br>(n=1,051) | 平成25年度調査<br>(n=1,175) |
|------------------------|-----------------|-----------------|-------------------|-------------------|------------------|-------------------|---------------------|-----------------------|
| 収入                     | 70.7            | 61.9            | 70.0              | 62.7              | 68.5             | 63.2              | 62.4                | 66.6                  |
| 労働時間                   | 60.3            | 54.9            | 63.4              | 64.2              | 61.4             | 44.3              | 58.2                | 51.7                  |
| 通勤の便                   | 38.7            | 36.2            | 41.4              | 43.8              | 53.3             | 31.3              | 42.5                | 37.1                  |
| 仕事内容                   | 63.1            | 46.5            | 55.1              | 53.1              | 44.2             | 59.4              | 58.9                | 62.6                  |
| 職場の雰囲気                 | 51.1            | 54.7            | 40.8              | 36.3              | 55.2             | 36.1              | 46.6                | 48.9                  |
| 仕事の社会的意義               | 11.6            | 13.7            | 19.8              | 15.5              | 16.1             | 11.7              | 17.5                | 11.8                  |
| 事業や雇用の安定性              | 25.8            | 27.3            | 31.6              | 25.5              | 35.1             | 23.0              | 26.4                | 24.5                  |
| 将来性                    | 26.8            | 34.5            | 38.6              | 36.7              | 43.0             | 25.5              | 36.6                | 28.3                  |
| 専門的な知識や技能を<br>生かせること   | 19.0            | 22.8            | 26.7              | 19.3              | 26.8             | 21.1              | 20.7                | 20.8                  |
| 能力を高める機会が<br>あること      | 17.3            | 23.7            | 29.1              | 28.9              | 33.0             | 25.1              | 27.3                | 19.9                  |
| 自分を生かすこと               | 25.4            | 25.2            | 31.3              | 26.4              | 20.4             | 19.0              | 23.6                | 35.3                  |
| 自分の好きなことや<br>趣味を生かせること | 27.2            | 36.8            | 33.2              | 25.3              | 41.8             | 26.5              | 43.4                | 31.2                  |
| その他                    | 1.9             | 2.3             | 1.2               | 0.5               | 1.7              | 0.3               | 0.5                 | 1.2                   |
| わからない                  | 6.7             | 5.8             | 4.7               | 6.1               | 2.8              | 4.2               | 4.5                 | 5.7                   |

(%)

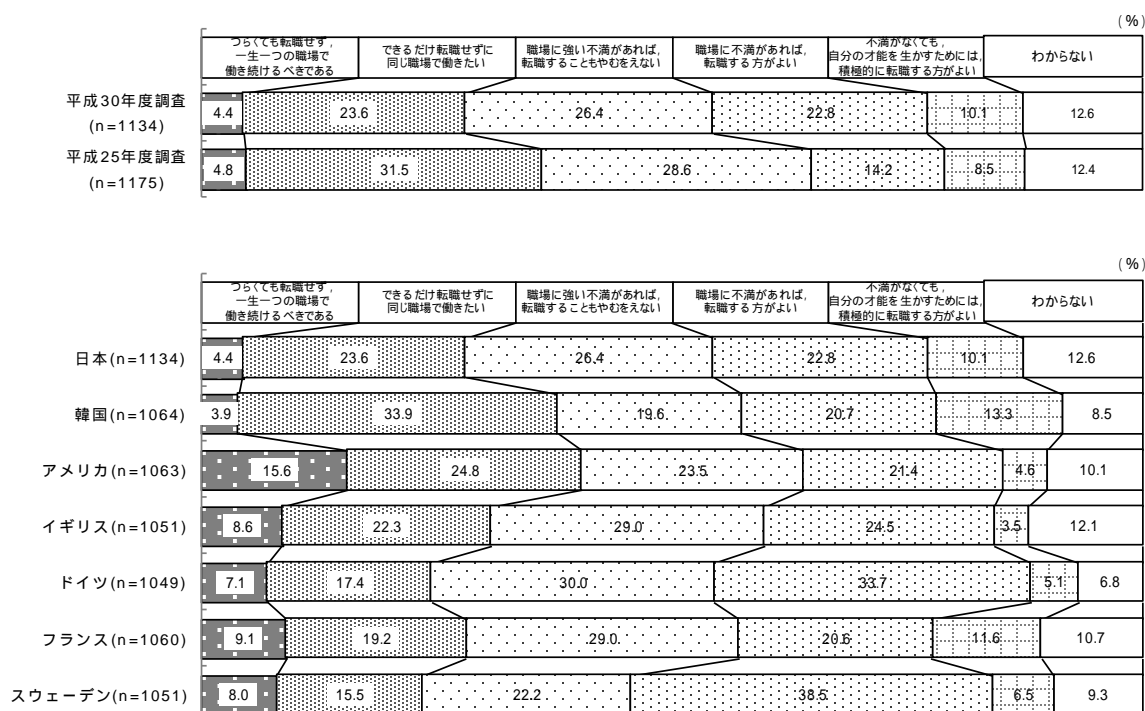
(2) 転職に対する考え方

Q45 転職については、様々な考え方があります。この中から、あなたの考えに近いものを1つだけ選んでください。(回答は1つ)

転職に対する考え方を日本の若者に聞いたところ、「職場に強い不満があれば、転職することもやむをえない」(26.4%)と答えた割合が最も高く、次いで「できるだけ転職せずに同じ職場で働きたい」(23.6%)、「職場に不満があれば、転職する方がよい」(22.8%)となっている。「つらくても転職せず、一生一つの職場で働き続けるべきである」と答えた割合は4.4%である。

日本について平成25年度調査と比較すると、「職場に不満があれば、転職する方がよい」が8.6ポイント高く、「できるだけ転職せずに同じ職場で働きたい」が7.9ポイント低くなっている。前回は「できるだけ転職せずに同じ職場で働きたい」と答えた割合が最も高かったが、今回は「職場に強い不満があれば転職することもやむをえない」と答えた割合が最も高い。

7か国比較でみると、日本と同様、イギリスとフランスでは「職場に強い不満があれば、転職することもやむをえない」(それぞれ29.0%)と答えた割合が最も高い。韓国とアメリカでは「できるだけ転職せずに同じ職場で働きたい」(韓国33.9%、アメリカ24.8%)と答えた割合が最も高い。スウェーデンとドイツでは「職場に不満があれば、転職する方がよい」(スウェーデン38.5%、ドイツ33.7%)と答えた割合が最も高い。アメリカでは「つらくても転職せず、一生一つの職場で働き続けるべきである」と答えた割合が15.6%で、7か国で唯一1割を超えている。



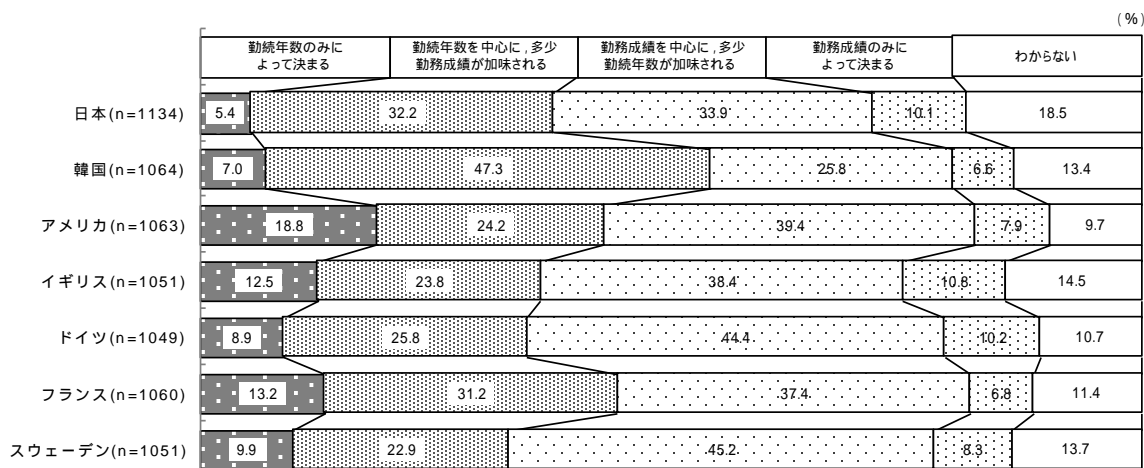
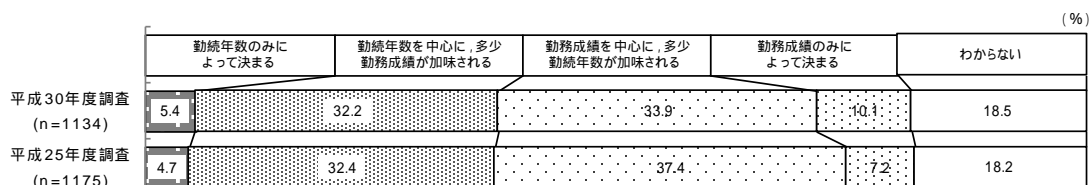
(3) 昇進・昇給の方法

Q46 あなたは、どのような方法で昇進や昇給を決めるのが望ましいと思いますか。この中から1つだけ選んでください。(回答は1つ)

昇進や昇給を決めるのに望ましい方法を日本の若者に聞いたところ、「勤務成績を中心に、多少勤続年数が加味される」(33.9%)と答えた割合が最も高く、次いで「勤続年数を中心に、多少勤務成績が加味される」(32.2%)、「勤務成績のみによって決まる」(10.1%)、「勤続年数のみによって決まる」(5.4%)となっている。

日本について平成25年度調査と比較すると、大きな差はみられない。

7か国比較でみると、韓国では、「勤続年数を中心に、多少勤務成績が加味される」(47.3%)と答えた割合が最も高い。一方、その他の国では日本同様に「勤務成績を中心に、多少勤続年数が加味される」(スウェーデン45.2%、ドイツ44.4%、アメリカ39.4%、イギリス38.4%、フランス37.4%)と答えた割合が最も高くなっている。

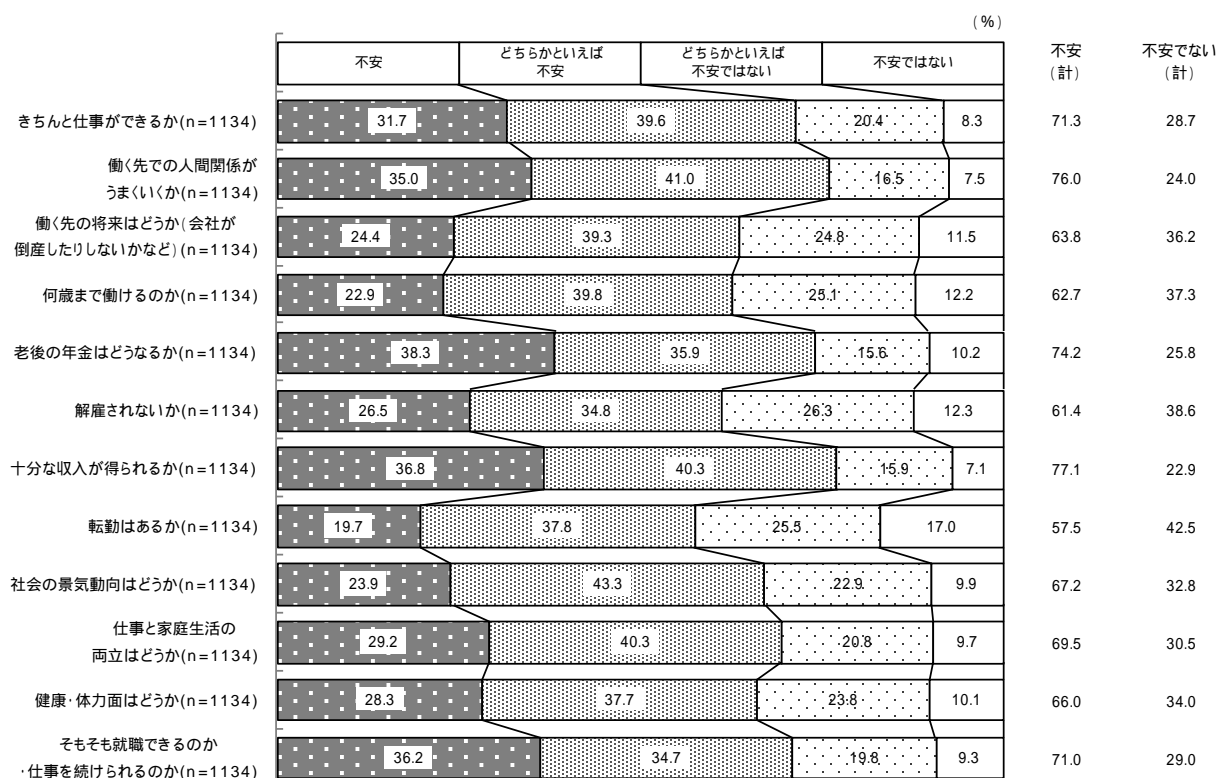




(4) 現在または将来の不安

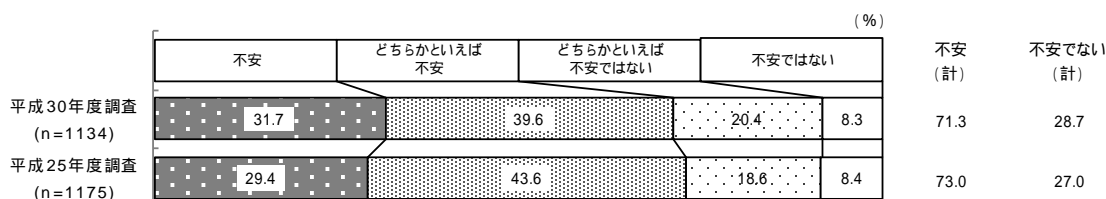
Q47 あなたの働くことに関する現在または将来の不安について伺います。以下のそれぞれについて、あてはまるものを1つ選んでください。(回答はそれぞれ1つずつ)

働くことに関する現在または将来の不安について日本の若者に聞いたところ、『不安』(「不安」と「どちらかといえば不安」の合計)と答えた割合は、「十分な収入が得られるか」(77.1%)が最も高く、次いで「働く先での人間関係がうまくいくか」(76.0%)、「老後の年金はどうか」(74.2%)となっている。他に、「きちんと仕事ができるのか」(71.3%)、「そもそも就職できるのか・仕事を続けられるのか」(71.0%)も7割を超えている。

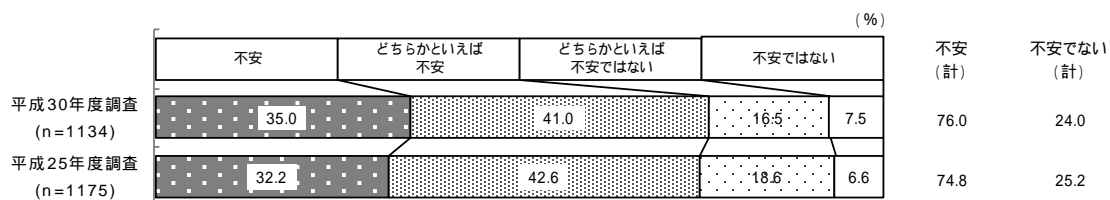


日本について平成25年度調査と比較すると、『不安』と答えた割合は「社会の景気動向はどうか」で6.3ポイント低くなっている。

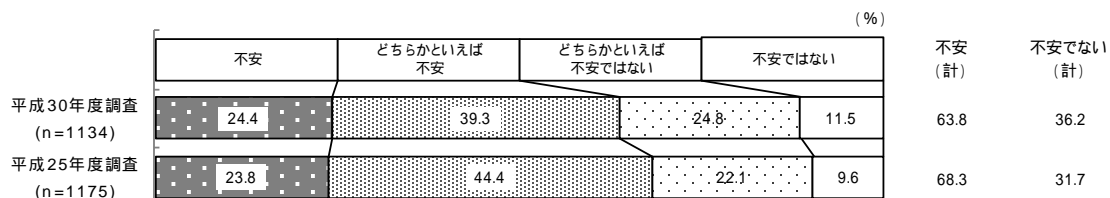
Q47(a) きちんと仕事ができるか



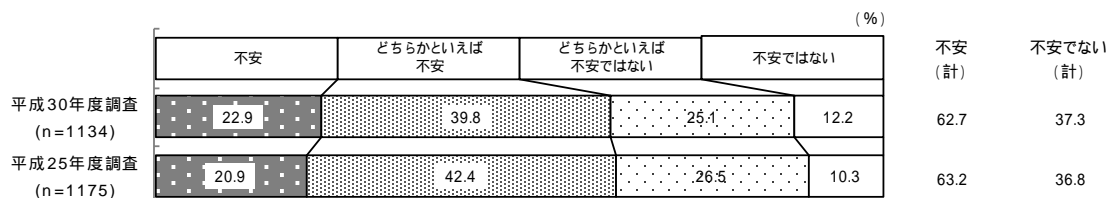
Q47 (b) 働く先での人間関係がうまくいくか



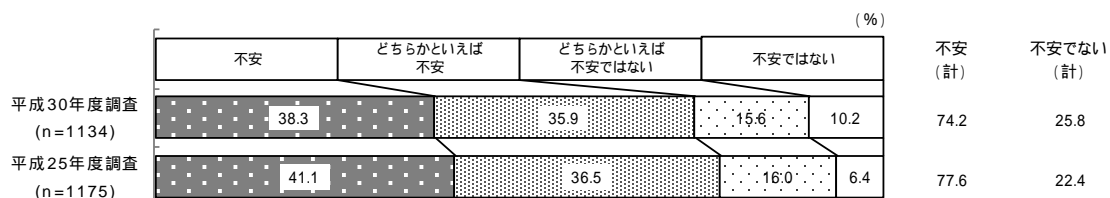
Q47 (c) 働く先の将来はどうか (会社が倒産したりしないかなど)



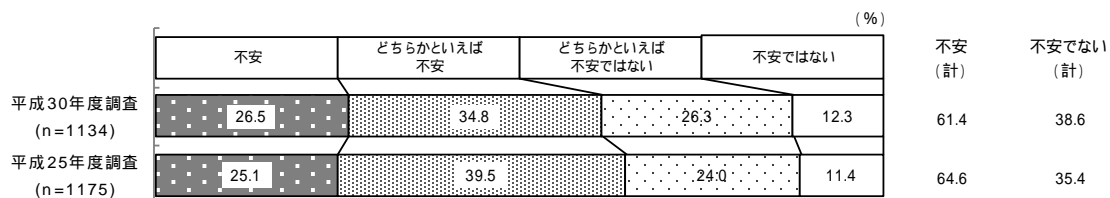
Q47 (d) 何歳まで働けるのか



Q47 (e) 老後の年金はどうなるか

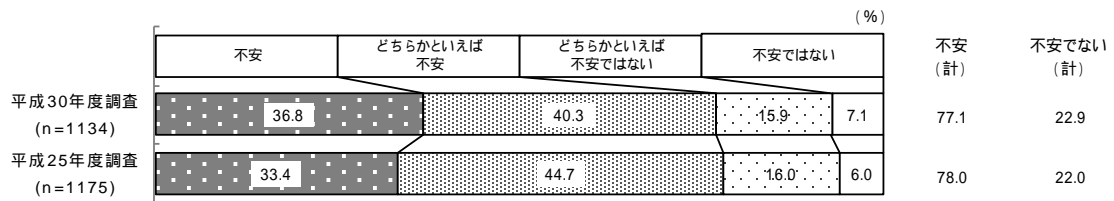


Q47 (f) 解雇されないか

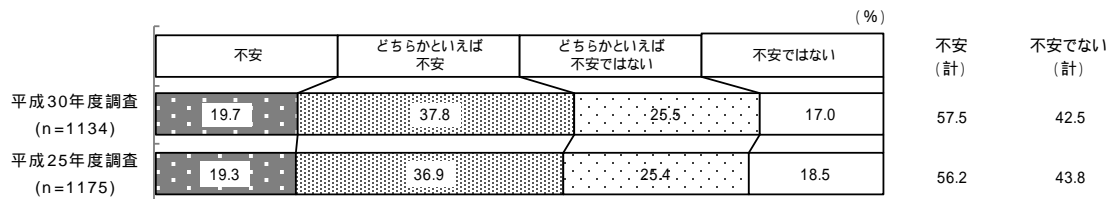


平成25年度調査は「リストラされないか」への回答

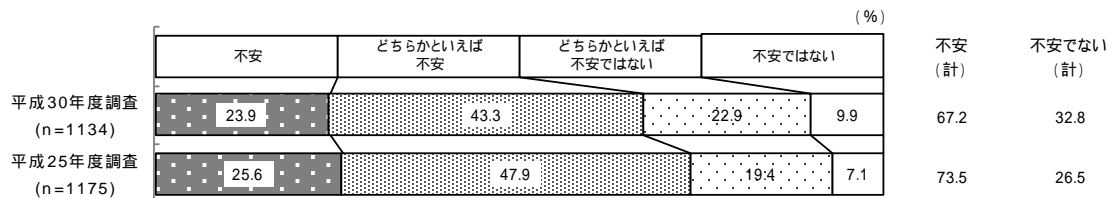
### Q47 (g) 十分な収入が得られるか



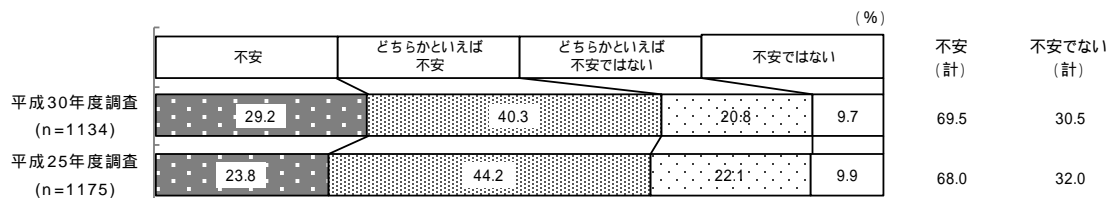
### Q47 (h) 転職はあるか



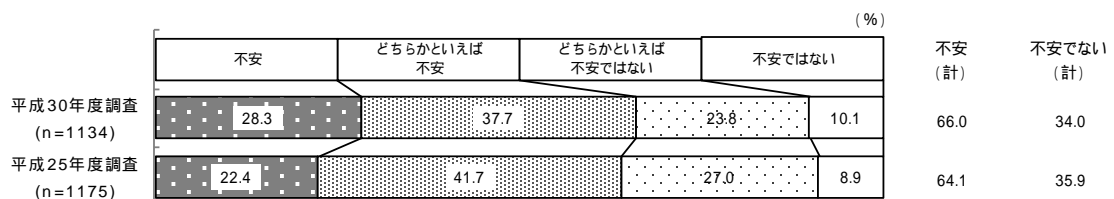
### Q47 (i) 社会の景気動向はどうか



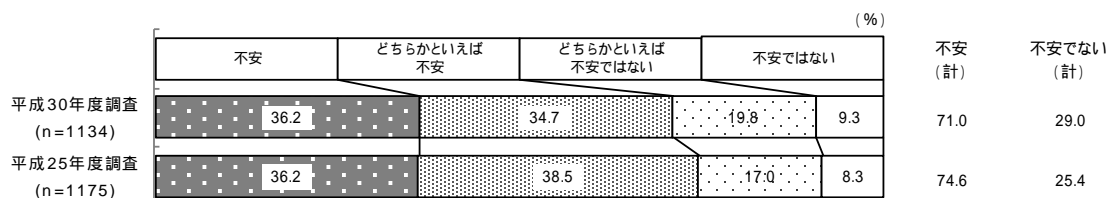
### Q47 (j) 仕事と家庭生活の両立はどうか



### Q47 (k) 健康・体力面はどうか

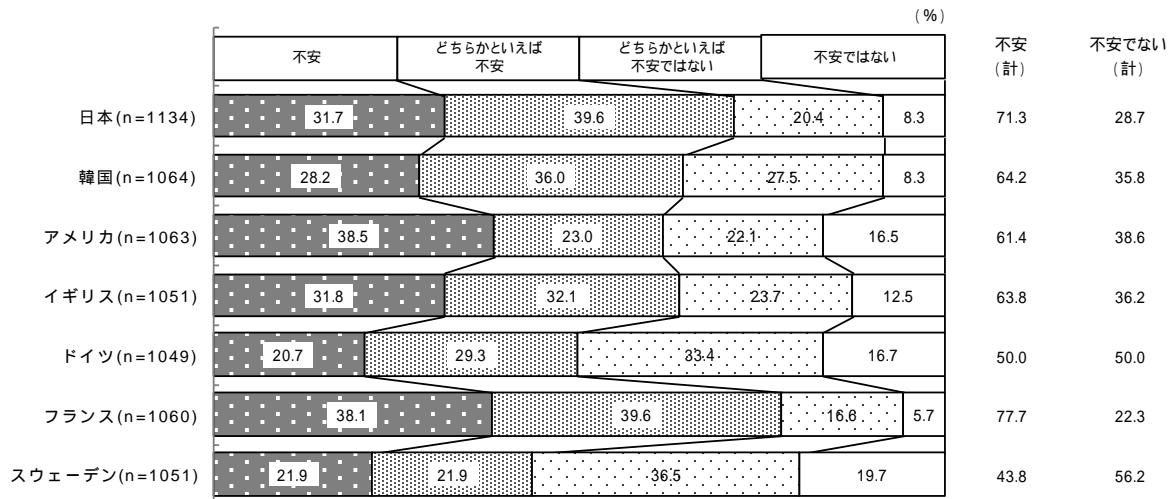


### Q47 (l) そもそも就職できるのか・仕事を続けられるのか

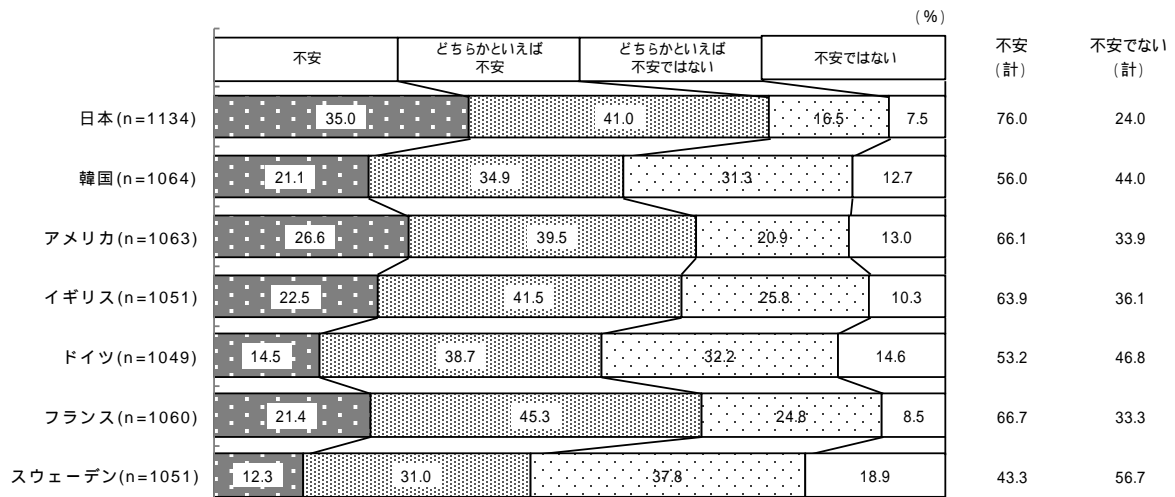


【国別】

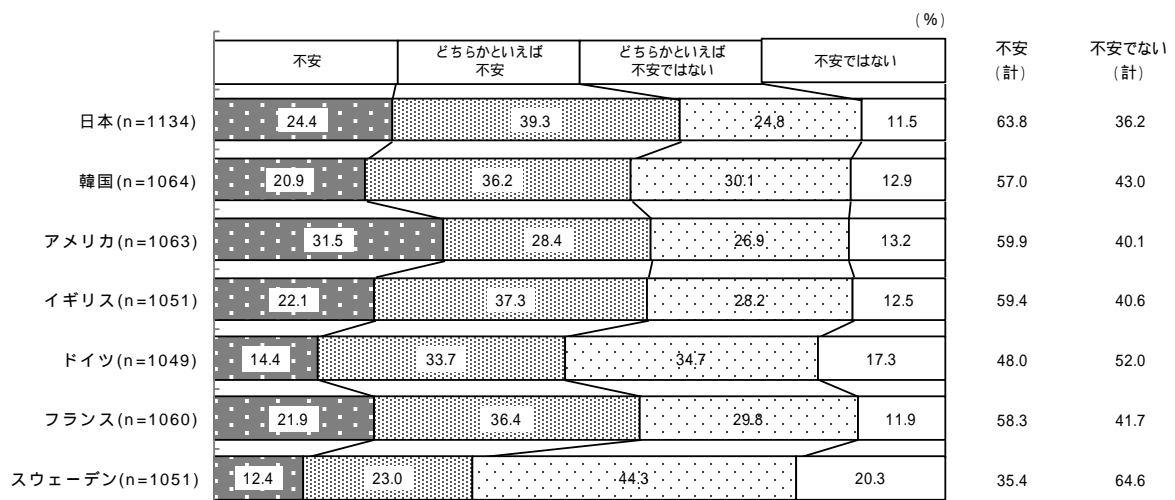
Q47 (a) きちんと仕事ができるか



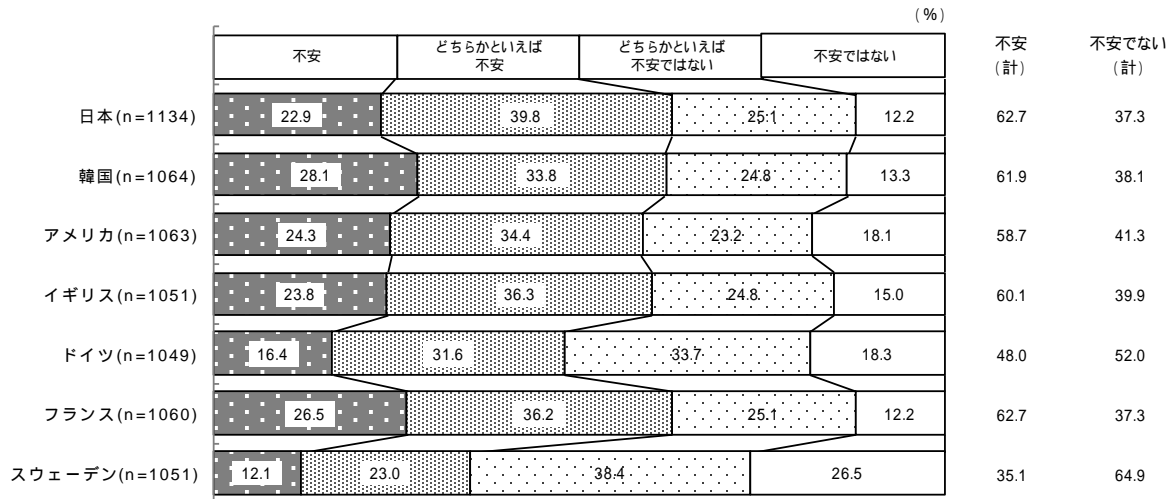
Q47 (b) 働く先での人間関係がうまくいくか



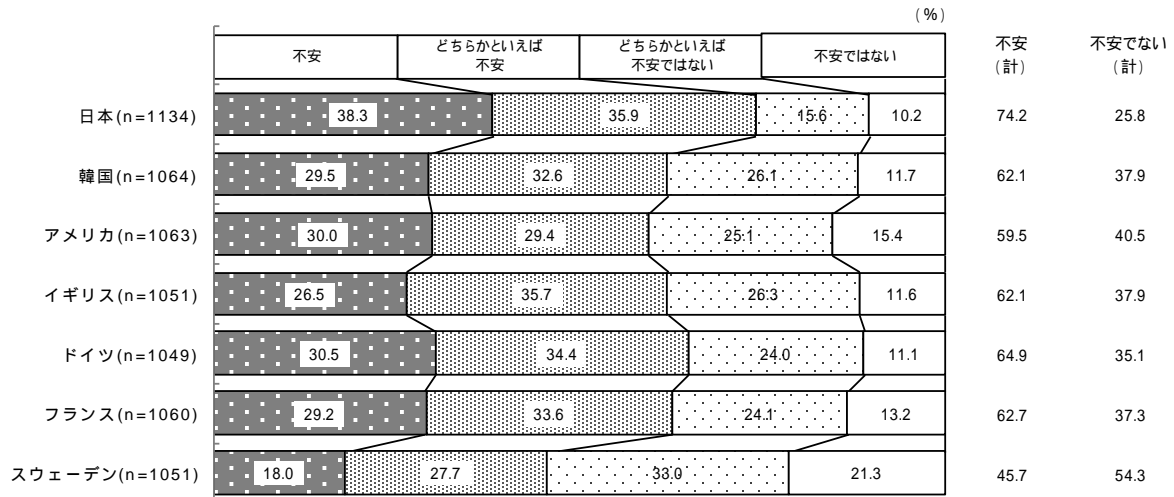
Q47 (c) 働く先の将来はどうか (会社が倒産したりしないかなど)



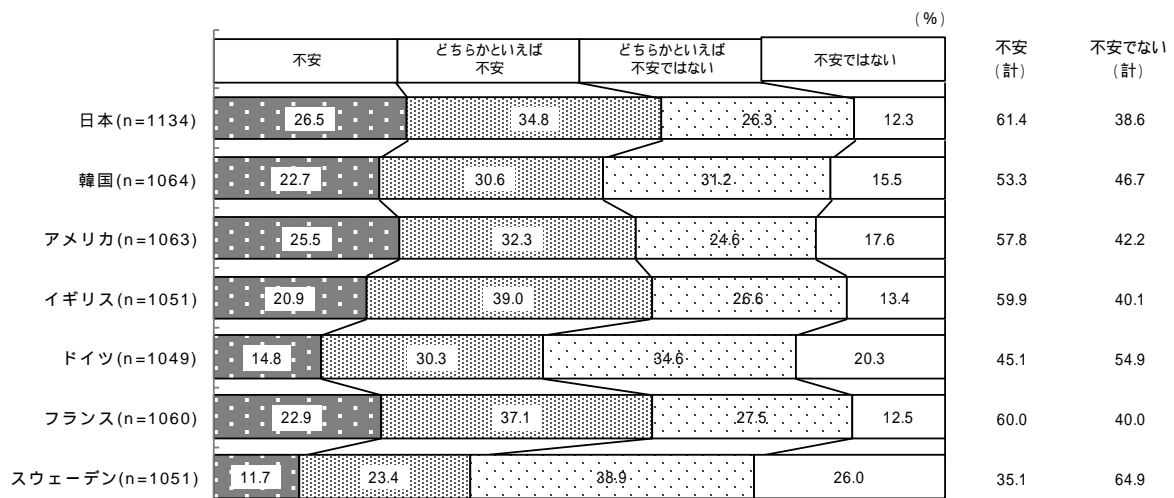
Q47 (d) 何歳まで働けるのか



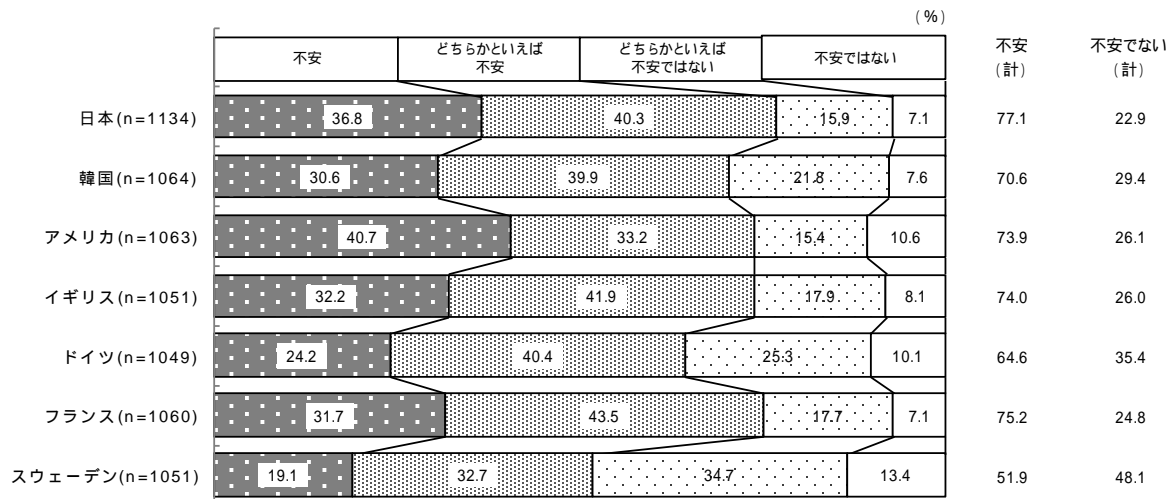
Q47 (e) 老後の年金はどうか



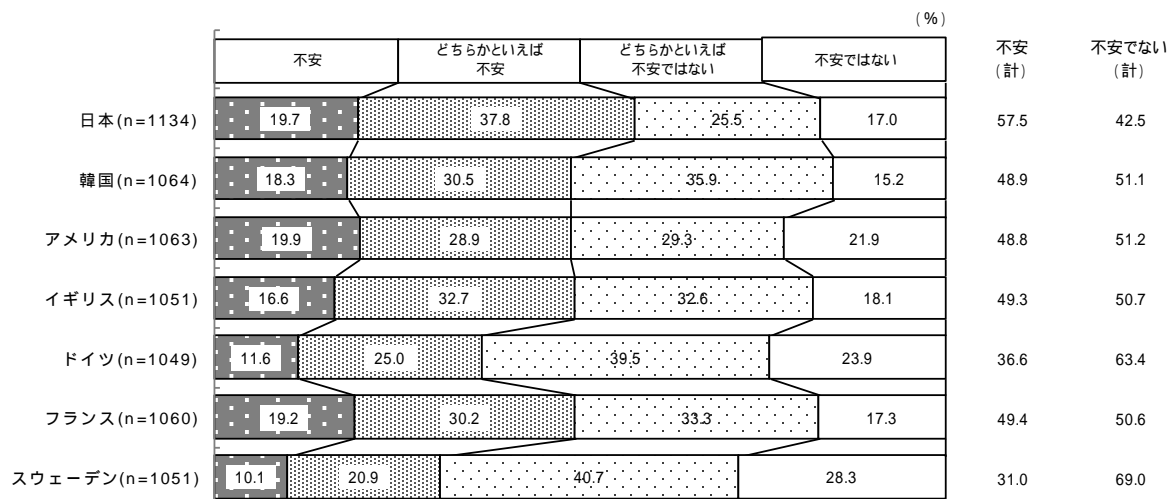
Q47 (f) 解雇されないか



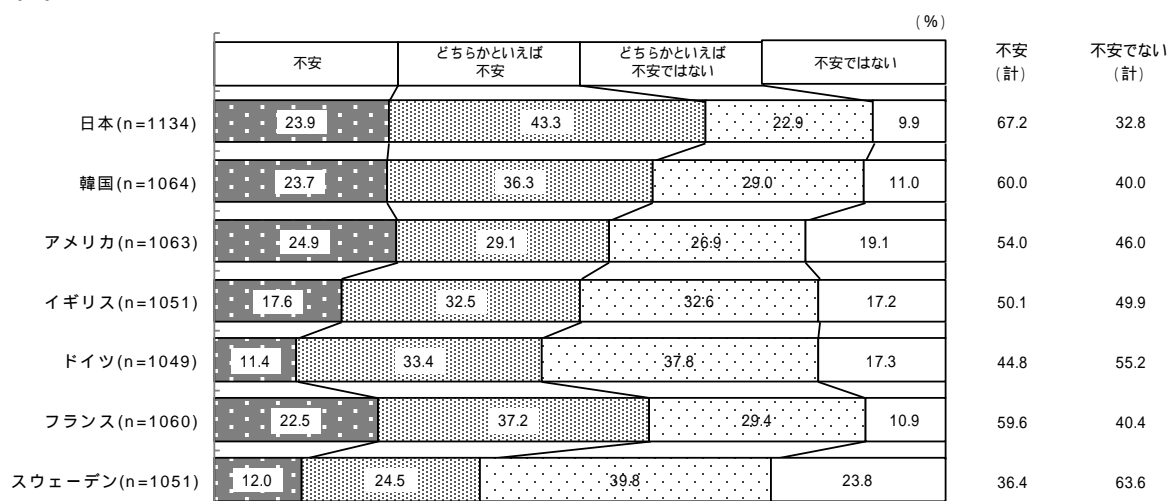
### Q47 (g) 十分な収入が得られるか



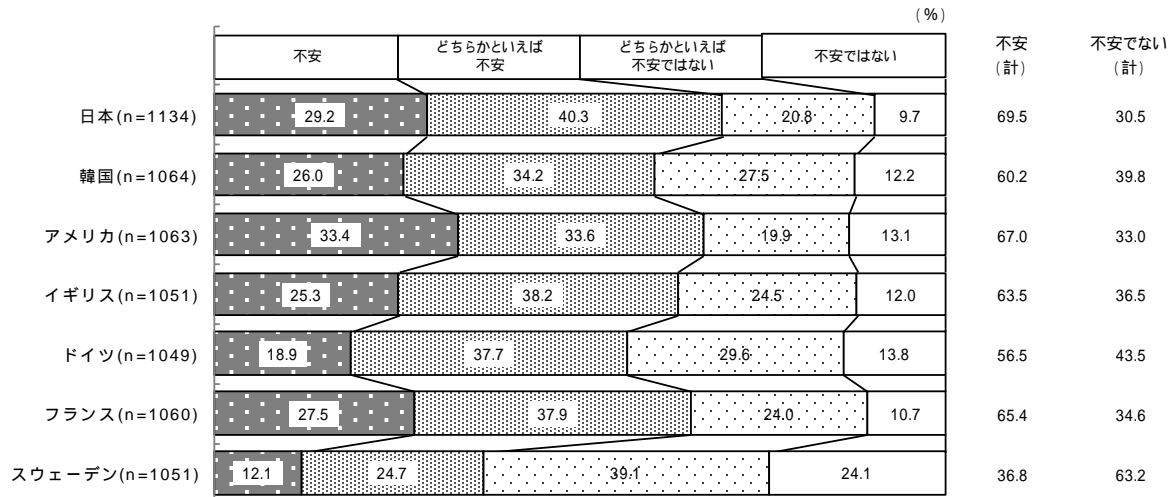
### Q47 (h) 転職はあるか



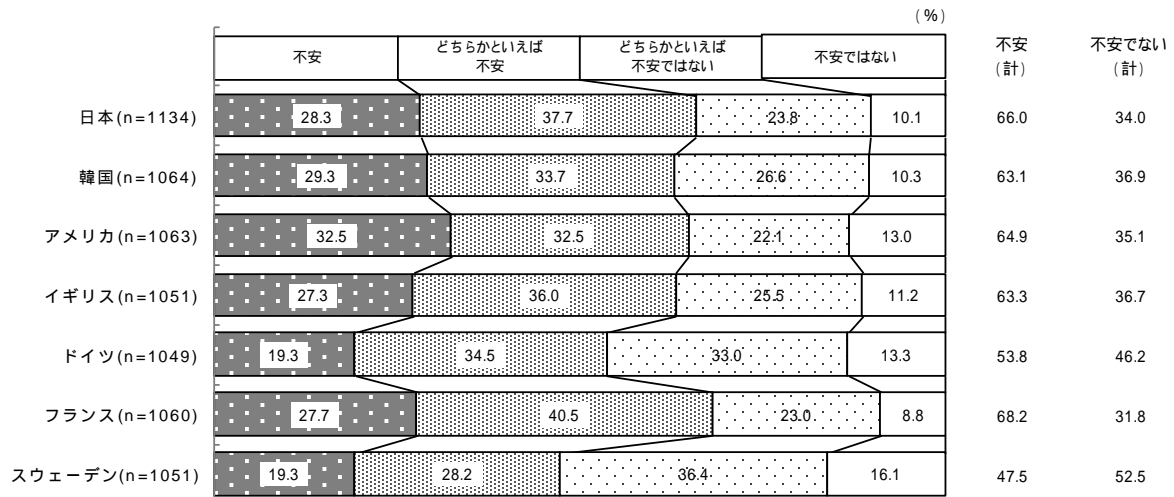
### Q47 (i) 社会の景気動向はどうか



Q47 (j) 仕事と家庭生活の両立はどうか



Q47 (k) 健康・体力面はどうか



Q47 (l) そもそも就職できるのか・仕事を続けられるのか

